

# 大盛況! 第42回創立記念祭!!

10月14、15日(土、日)、創立記念祭(文化祭)を開催しました。一般公開では多くの方にご来校いただき、とても楽しく、明るい笑い声に包まれた2日間でした。



題字  
堀 未菜美さん(日吉中出身)  
書道部二年

西高新聞

発行  
熊本西高校総務部  
第48号

10月号

## 特進クラス1年大学訪問

10月5日に、特進クラスの1年生が熊本県立大学を訪問しました。午前中に大学の概要説明を受けた後に、英語英米文学科と環境資源学科の教授による模擬授業を受けました。午後は県立大に進学した2名の本校卒業生の講話を聞き、今後の進路実現に向けての



取り組みについて考える、貴重な時間となりました。

## 高校生県議会

『平成29年度高校生県議会』(8月4日)に県内6校の内の1校に選出され、県議会についての学習から綿密な事前打合せやリハーサルを行い、執行部員4名が参加しました。(松原彰太朗、中村篤志、谷口彩音、北野伸太朗)実際に県議会が行われている議会席にて「地震からの復旧・復興で目指すまもとの将来像」について知事に質問を行うなど、普段絶対に経験することのできないよりよい体験をすることができました。熊本県議会ホームページに紹介されています。



## 体育コースゴルフ実習



9月22日(金)に、3年体育コースの生徒が荒尾市のグリーンランドゴルフコースにおいてゴルフ実習を体験しました。9月初旬から、スイングやパットなどの基本的な練習を行うとともに、様々な講習を行いました。

これまでの成果もありましたが、初めて回るゴルフコースに思わず力も入ってしまうのか、狙ったところへ思うように飛んでくれない様子でした。しかし、徐々に体重移動と身体の軸の使い方も上手くなり、練習の成果が出てきました。ゴルフを通して、生涯スポーツの大切さを学びました。

# ST!!元の Let's enjoy English!

「結果は後からついてくる・・・」

中学生も高校生も受験生は大変ですね。ご苦労様です。受験勉強は辛いものです。なぜなら、どれだけ頑張っても、合格率は100%にはなり得ないからです。ですから、受験生は常に不安とともに努力を続けなければなりません。しかし、アメリカ大リーグのメンタルトレーナーのケン・ラビザ氏は著書の中で言っています。

「あなたのできることに集中しなさい。結果は

**あつ**

## 熱ねティー

今回は高田裕万先生（体育科・生徒指導主事・剣道部顧問）

早野敏子先生（地歴公民科・女子生徒指導担当）を紹介します。

○熊本西高の校則って厳しいんですか？

（高田）「西高は厳しい」と聞くことがあります、それは誤解だと思います。（笑）これまで勤務してきた学校と比べても特別厳しいことはありません。現在も通学鞄を自由にしたり、バイク通学も検討するなど、いろんな改革を進めています。

（早野）私は女子の生徒指導を担当していますが、特に厳しいと感じたことはありませんね。他の県立高校と変わらないのではないかでしょうか。生徒たちの規範意識も高いと思います。

○生徒指導上、大変なことは？

（高田）大変なことはありません。西高生は素直で楽しい生徒が多いです。注意すれば大体わかってくれます。だからこそ、こちらも真剣勝負で言葉を選びながら指導します。どんな言葉がこの生徒の胸に響くのかと。ただ、残念なのは、自転車のマナーで校外から苦情がくることですね。（涙）

（早野）そうなんです。悪気はないんだと思いますが、時間に余裕を持てずに急いだり、つい友人との話に夢中になって並列したり。命に関わる問題ですし、地域の方々にも申し訳なくて・・・。高田先生は毎朝校門に立たれて指導されていますし、生徒指導部でも朝夕校外の主要箇所で交通指導を行っています。

○高田先生は西高OBで玉東町からJRで通われていた？

（高田）当時JRでの通学はクラスで私一人だけでした。今はJR通学生が増えましたね。西高に来なかったら、教師には

後からついてきます。」結果や勝ち負けは自分ではコントロールできないものですが。つまり、自分のパフォーマンスより相手のパフォーマンスが高かつたらあなたの負けです。だったら自分がコントロールできること、つまり、自分の練習時間や集中力、日常の習慣や体調、このようなものをしっかりとコントロールしなさいと、氏は言っています。スポーツの世界の話ではありますが、受験勉強にも通じますね。



なっていないと思います。教師を目指すきっかけを作ってくれた、人生の目標となる、素晴らしい恩師と出会うことができました。その先生のもと、剣道に打ち込んだ三年間でしたね。

○剣道部の現在の様子はどうですか？

（高田）昨年、17年振りに男子団体でベスト4に入り、九州大会に出場しました。女子も久しぶりにメンバーが揃い、稽古に活気が出てきました。県内の高い壁は百も承知です！全国を目指して頑張っています。

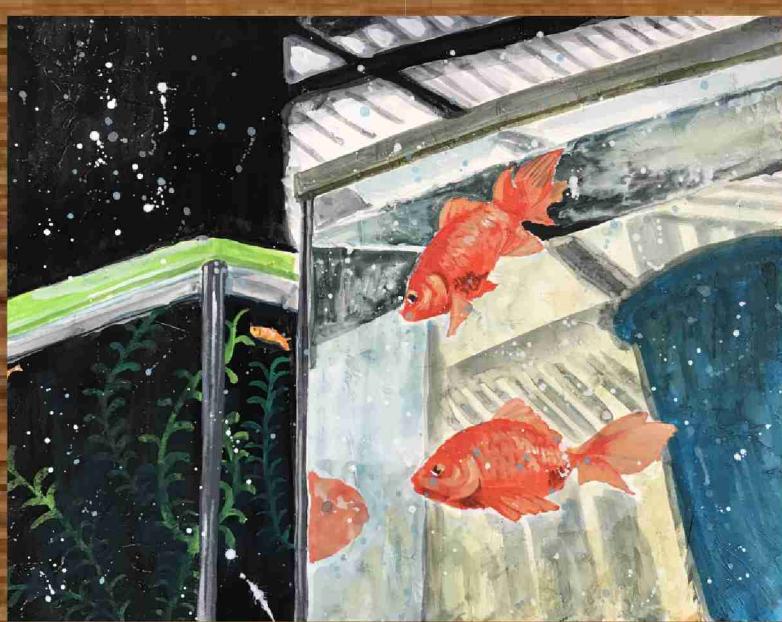
○早野先生の西高生に対する印象はいかがですか？あと、授業で心掛けていることは？

（早野）西高生は元気が良く、挨拶をとてもよくしてくれます。昨年4月、西高に来たばかりの時にも生徒から声を掛けてくれた。すごく勇気づけられたり、うれしかったですね。実は、私の恩師が西高に勤められていた時があり、いつか西高で恩師と一緒に仕事がしたいと思っていました。結局夢を叶えることはできませんでしたが、昨年「西高に勤務することになりました」とお伝えすると、ものすごく喜んで下さった。だから西高は勤務する前から特別な存在なんです。

授業では「わかりやすく、おもしろく」を心掛けています。世界史はロマンのある教科です。立体のジグソーパズルのような。いつどこで何が起きたのか、そしてどうなったのか。縦軸と横軸を意識しながら学びます。それと、覚えることを楽しんで。プロレス観戦でも、技の名前を知ってる方が断然楽しいし！

○プロレス観戦・・・。（笑）早野先生は生徒指導部室常駐（3人）の中で女性ひとりでも、毎日笑いが絶えないんだそう。どんな話題で盛り上がっているのか？気になるところだが、とにかく絶妙のチームワーク。それが生徒指導部。ありがとう！熱ティーたち。

高田先生（左）と早野先生（右）



金魚のツヤや美しさを意識しながら描きました。

高村 優妃 作（砥用中出身 美術部 1年）

## 素部の作品集



## 秋のオープンスクール

日時：11月18日（土）

10:00~11:40

Welcome!